

群馬大学工業会（同窓会）・東海連合支部

（有志による）第6回若手の会 報告書

日時：2024年7月13日（土）18:00 - 21:00

場所：嘉文センチュリー豊田ビル店

参加者(敬称略)：村岡睦（修-H15M）、山田章博（修-H16B）、熊軼（修-H30E）、清水堪蔵（S49C）の4人

第6回目となる**若手の会（平成15年卒より若い人の集まり）**を会場で実施した。

まずは近況報告から始まった。村岡さんは、総会の前日の5月11日（土）の前夜祭に原野先生と3次会までいったとの事。途中から参加した人もいた。来週は娘さんを連れて群馬大学・荒牧キャンパスを訪問予定との事。

山田さんは8月18日（日）のオンライン交流会で、八木節同好会のプレゼンをする事になっている。

熊さんは名古屋大学博士課程在学中だが、博士論文の作成と、就職活動中との事。清水は6月29日本部の総会に出席し、その後群馬県（富岡製糸場、妙義神社、群馬大学荒牧キャンパス、群馬大学養心寮）と埼玉県深谷市（渋沢栄一生涯家、畠山史跡公園等）を訪問した事を説明した。

その後、**工業会の運営の問題点・改善点等**に関し、**若い人の意見・提案等**を話しあった。

主な要点は、

- 1) 毎年3月に工業会本部から入手する名簿に、新しく卒業した人が掲載されている。愛知支部の場合は、2024年度は15人程載っていたので、確認メールを出したが、返事は一人もなし。→参加者の若手の意見。大学から与えられたメールアドレスは誰も使用していないのではないか？ **卒業時にメールアドレスを聞き出しおく必要あり（スマホ等で持っているはず。）。**
- 2) 連絡方法としては、会報、ホームページ、Facebookは続けたらよいが、若い人はほとんど見ていないのではないか。工業会本部で若い人が良く使用している**"X", Instagram, Line**の**公式アカウント**を登録して、使用していくべき。
- 3) 学生時代から工業会（同窓会）をより認知させる必要あり。企業との就職面談も大学がやっていて、工業会がやっているとこの認識は弱い。オンライン交流会には8月から、石間先生に学生にも声をかけてもらう事になったが、**学生に工業会の存在を知ってもらうのには、良い機会になると思われる。**



左から村岡さん、山田さん、清水、熊さん

今後の予定：9月に徳島支部の笠谷武司（H18C-徳島）さん、野口太郎（修 H23C-西九州）さんも含めて、若手オンライン交流会を開催予定。また会場では2024年12月頃に開催する予定。

他支部の若手の人も参加して頂き、若手の会を盛り上げてほしいと思います。

（文責：清水堪蔵—東海連合支部長、世話役）